

## 自己評価報告書

平成23年 4月 1日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008年度～2012年度

課題番号：20330035

研究課題名(和文) ポスト失われた10年の日本経済の理論的・実証的研究

研究課題名(英文) Theoretical and Empirical Research on the Japanese Economy After the Lost Decade

## 研究代表者

福田 慎一 (SHINICHI FUKUDA)

東京大学・経済学研究科・教授

研究者番号：00221531

研究分野：経済学

科研費の分科・細目：経済理論

キーワード：失われた10年、経済成長、日本経済、ゾンビ企業

## 1. 研究計画の概要

(1) 本研究の目的は、ポスト「失われた10年」の日本経済を分析することにある。日本経済は長い低迷から抜け出しつつあったが、リーマンショックによる世界同時不況などで、何度もその回復は足止めとなっている。日本経済が本格的に回復するにはどのような要因が重要なのかをマクロ経済面を中心に理論的・実証的に分析する。

(2) 「失われた10年」が終わった後の日本経済は、世界同時不況の影響で景気が急速に悪化し、デフレ基調が長引いている。現在の日本経済でどのような経済政策が望まれるかを、(1)の分析結果を踏まえて、金融政策・銀行規制を中心に分析する。

## 2. 研究の進捗状況

(1) 日本経済の現状分析は、マイクロデータとマクロデータの両面から検証を進めてきた。企業レベルのマイクロデータを用いた分析では、日本経済の回復過程において、なぜ「ゾンビ企業」が復活したのかを、上場企業を中心に実証的に考察した。

(2) また、新聞記事などから日本経済の回復過程で報道された各種のニュースを収集することによって、いわゆるイベント・スタディーも行った。これらの実証分析の成果は、複数の論文としてまとめられ、現在、刊行に向けての準備が完了している。

(3) 「失われた10年」およびその後の10年間はデフレ基調が続く中、金融政策もかつて経験したことのない超金融緩和と政策が実施された。マクロデータを用いた分析では、これら非伝統的な金融政策の在り方を理論的・実証的に考察し、その成果を複数の論文にまとめた。

(4) 「失われた10年」およびその後の日本経済では、財政赤字も膨大なものとなり、伝統的な財政政策を困難にしている。分析ではなぜ1990年代に財政赤字が拡大し、それが財政政策の有効性にいかなる影響を与えているのかを理論的・実証的に考察し、その成果を複数の論文にまとめた。

(5) 得られた実証分析を裏付ける理論モデルの構築も同時並行的に行った。特に、不確実性下での企業化行動や、バブル崩壊後の経営者行動の変化といった、最近の「行動経済学」の理論的発展をある程度踏まえたマクロ動学モデルを構築し、論文にまとめる作業に入っている。

## 3. 現在までの達成度

銀行規制の分析がやや遅れているが、それ以外の分析は複数の論文が完成しており、おおむね順調に進展している。これまでの理論的・実証的分析によって日本経済回復の原因を解明することが部分的に解明されたと考えられる。

## 4. 今後の研究の推進方策

東日本大震災など新たな大事件も発生し、日本経済は新たな局面に入っている。今後は、これら新しい要因も取り入れながら、ポスト「失われた10年」の日本経済を分析する新しい理論的・実証的フレームワークを提供することを目指したいと考えている。

## 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

(1) Shin-ichi Fukuda and Robert F. Owen, "Human Capital and Economic Growth: Dynamic Implications of Insider-outsider Problem for Macroeconomics," Public Policy Review Vol.4 (December 2008).

(2) Shin-ichi Fukuda, Munehisa Kasuya, and Kentaro Akashi "Impaired Bank Health and Default Risk" Pacific-Basin Finance Journal, Volume 17, Issue 2, pp.145-162. (2009).

(3) 福田慎一「非伝統的金融政策—ゼロ金利政策と量的緩和政策—」『フィナンシャル・レビュー』2010年第1号(通巻第99号)(2010年2月)。

(4) Shin-ichi Fukuda and Junichi Nakamura, "Why Did "Zombie" Firms Recover in Japan?," The World Economy, forthcoming.

(5) 福田慎一・山田潤司「大きなデフレはなぜ発生し、何をもたしたか? : 2000年代前半の香港の経験から」『フィナンシャル・レビュー』近刊。

[学会発表] (計5件)

(1) Shin-ichi Fukuda, "The Role of Monetary Policy under Quantitative Easing in Japan", 2008年 Asia Pacific Economic Association (北京中央财经大学)

(2) Shin-ichi Fukuda, "Why Did "Zombie" Firms Recover in Japan?", 2009年 Asia Pacific Economic Association (UC Santa Cruz)

(3) 福田慎一, 「金融危機と中央銀行の役割: ゼロ金利政策、量的緩和政策、および信用緩和政策」2009年度日本経済学会秋季大会(専修大学)(招待講演)

(4) 福田慎一, 「非伝統的金融政策: アカデミックな観点からの概念整理」2010年度日本金融学会春季大会(中央大学)(招待講演)

(5) Shin-ichi Fukuda, "Market-specific and Currency-specific Risk during the Global Financial Crisis: Evidence from the Interbank Markets in Tokyo and London," 2010年 East Asian Seminar on Economics (Sydney).

[図書] (計2件)

(1) 寺西重郎・福田慎一・奥田英信・三重野文晴編著、『アジアの経済発展と金融システム: 東北アジア編』、東洋経済新報社。

(2) 寺西重郎・福田慎一・奥田英信・三重野文晴編著、『アジアの経済発展と金融システム: 東南アジア編』、東洋経済新報社、2008年4月。

[産業財産権]  
○出願状況 (計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
国内外の別:

○取得状況 (計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
取得年月日:  
国内外の別:

[その他]